



自治医大から地域へ旅立つ後輩の皆さんへ

栃木 25 期の新井由季と申します。大学から旅立つ皆さんへの応援をするよう頼まれ、このメッセージを書いています。

自治医大で過ごした 6 年間、楽しかったですね。たくさんの仲間たちと充実した日々を過ごしたことと思います。その後 10 年以上の時間が流れましたが、あの頃以上の友達にはめぐり合えずに過ごしています。そのことを忘れずに、仲間を大事にしていただけたらと思います。

そして研修の 2 年間はどうか過ごされましたか。やはり仲間とともに、走り回る毎日だったのではないのでしょうか。今振り返るとなぜかわからないのですが、日付が変わるまで働いた日もありました。指導医の先生が、いつも守ってくれていました。

そして、これから。医師として独り立ちする日が来ます。3 年目からは重要な戦力として期待されています。プレッシャーはあります。難しい病気の患者さんもいらっしゃいます。でも、楽しいのはここからです。自分の力で病気を見つけ出し、治療を選び、患者さんが良くなるお手伝いをし、時には感謝されることがあります。自分で判断することは、医師の仕事の醍醐味です。大丈夫です。たくさんの先輩たちが、支えてくれます。今は携帯で画像を送ってアドバイスをもらうこともできます。安心して、目の前の患者さんに全力投球して下さい。



派遣先が自分の思い描いていた場所と違うかもしれません。しかしそこは、未知なる自分を見つけられる場所かもしれません。まずは踏みとどまって、自分の全力で戦ってください。辛くなった時は、是非先輩に相談してください。必ず、助けを得られます。私で役に立てることがあれば、いつでも言って下さい。

医師という仕事は、やはり楽しい仕事です。だから子供を産んでも、自分の失敗に心が折れそうになっても、この場所に戻ってきました。楽しむためには勉強も必要ですが、どうか楽しんで、大きく羽ばたいて行って下さい。応援しています。

[出身都道府県]	栃木県
[卒業期]	25期（平成13年度卒）
[氏名]	新井 由季